

MPEG 2 應用映像伝送システム

松崎一博* 本多孝司**
浅野研一* 佐々木 源***
本間 洋*

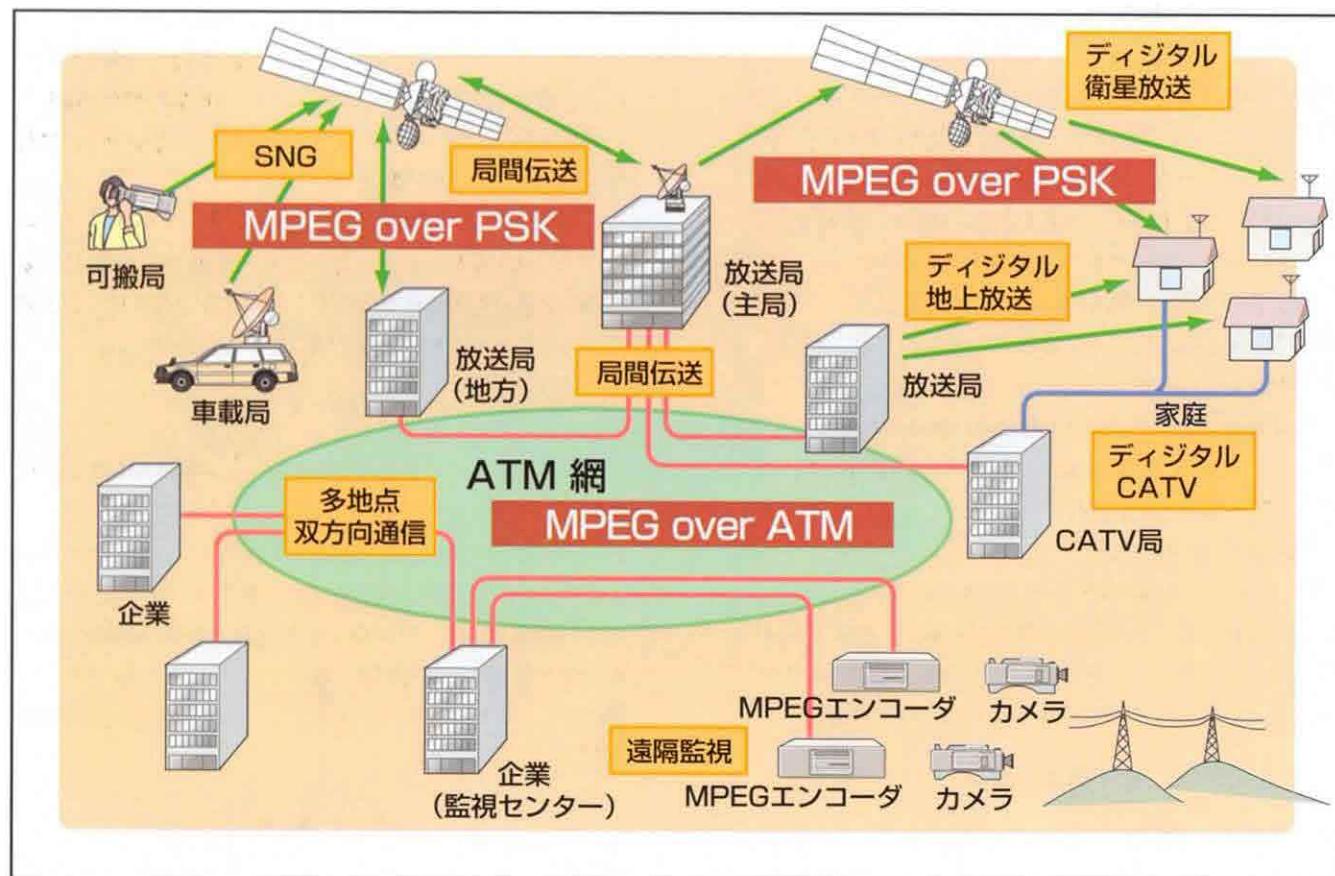
要旨

MPEG 2 Video(映像符号化方式), Audio(音声符号化方式), Systems(メディア多重・同期再生方式)規格は、通信・放送・蓄積分野等の種々のアプリケーションに適用可能な汎用方式を規定している。衛星を利用した放送サービスでは、有線通信サービスと比較してインフラ整備の負荷が小さくて済むため、MPEG 2 規格を用いた高品質デジタル映像伝送技術の導入が急速に具体化し、拡大されつつある。一方、通信分野においては、ATM 網に対応した広帯域映像伝送システムの開発と実用化が着実に進められている。

当社は MPEG 2 規格化作業に当初から参画し、種々の

技術提案を行って規格成立に貢献してきた。また、他社に先駆けて放送局向けデジタル SNG(Satellite News Gathering)システムや防災用映像伝送システムなどの MPEG over PSK システム、ATM ネットワーク対応コーデック(MPEG over ATM システム)、マルチエンコーダシステム、HDTV コーデック等の研究開発を進めてきている。

本稿では、MPEG 2 應用映像伝送システムの要素技術について述べた後、MPEG 2 應用の観点から上述の映像伝送システムの幾つかを取り上げて紹介する。



MPEG 2 映像伝送アプリケーションイメージ

MPEG 2 の規格化は、伝達メディア（通信系・放送系・蓄積系などの情報伝達手段としてのメディア）の異なる種々の映像伝送システムにおいて、情報源符号化処理・多重化処理の共通化を可能にした。これにより、システム間の相互接続性、異種伝達メディア間でのコンテンツの相互流通性が確保されようとしている。